

平成17年度
一般会計
補正予算

第2号

審査特別委員会報告

委員長 佐藤 守正

歳入歳出から歳入歳出を減額して
歳入歳出を64億677万8千円とするもの
可決

歳入の内訳(主なもの)

○老人保護措置費の国県負担金が17年度から一般財源化されたことに伴い、国分581万7千円、県分290万8千円減額。

○介護予防生活支援事業の一部のメニューが廃止され、387万1千円減額。

○地域ジュニアスポーツクラブ育成事業が本年度から廃止され80万円減額。

○16年度から繰越金の一部2千946万3千円を繰入れ。
○貸付金元利収入が4月1日で確定したことに伴い、2千229万3千円減額。

○仲間沢川への転落事故補償金の保険金収入152万円。

歳出の内訳(主なもの)

○湯沢保育園職員の中央保育園への異動、農業総務費から林業総務費への職員異動、国体準備職員の一人増員等に伴う人件費の増。

○商工振興費の貸付金の減は、融資資金預託金2千229万3千円減によるもの。

○土木費の凍結防止剤散布車購入費の増230万円は、投入金を自動開閉等にするための増。

○河川総務費の賠償金152万円は転落事故補償金(和解済み)

○奨学金増720万円は希望者増によるもの。

主な質疑

Q ジュニアスポーツクラブ育成補助金が削減されたが、団体への影響はないか。

A 県の財政縮減の中で削減されたが、町の一般財源で補填する。

Q 仲間沢川での転落事故が多いが、その対応は。

A 町内会長などに立ち合ってもらい、ゴミステーション設置と防護柵設置で対応した。

Q 老人保護措置費が一般財源化されたが、どういうことか。

A 老人ホーム魚沼荘の分である。三位一体改革の一環としてこのような補助金が削減されている。

平成16年度
一般会計
補正予算
第7号

1億949万3千円を減額し、歳入歳出を67億9千347万6千円とする。
* 町税・繰入金等の減額及び土木費・民生費等の減額

専決 承認

平成16年度
国民健康保険
補正予算
第3号

579万3千円を追加し、歳入歳出を9億7千72万5千円とする。
* 基金繰入金の減及び療養諸費の増額

専決 承認

平成16年度
介護保険
補正予算
第4号

90万5千円を減額し、歳入歳出を6億2千149万6千円とする。
* 基金繰入金の減及び償還金及び還付加算金の減

専決 承認

平成16年度
病院事業会計
補正予算
第4号

収益的収入及び支出
○事業収益 3千634万を増額し10億148万円とする。
○事業費用 3千634万を増額し10億3千863万2千円とする。
* 入院外来の増額及び健康保険等診療報酬交付金の増

専決 承認

平成17年度
一般会計
補正予算
第1号

1億112万7千を増額し、歳入歳出を64億1千112万7千円とする。
* 固定資産税の増額及び土木費の増額

専決 承認

平成17年度
観光事業会計
補正予算
第1号

収益的収入及び支出
○事業収益 5億2千5万3千円を増額し5億1千455万4千円とする。
○事業費用 4億6千446万2千円を増額し6億7千820万1千円とする。
○資本的支出 312万6千円を増額し1億7千570万1千円とする。
* 予算を否決されたために11月までの義務的経費及び事業運営に関わる経費を専決で承認したもの

専決 承認